SDGs達成に向けた取組チェックリスト

記載例

※すべての基本項目に具体的な取組を記入してください。
※3つ以上のチャレンジ項目に取組を記入してください。

事業者名	

	カテゴリ	チェック項目	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組例	主なSDGs（17のゴール）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	**【差別の禁止】** ・性別、年齢、人種、出身、障害などによる差別がないことを確認している	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している　など					5			8		10						16	
2		**【ハラスメント禁止】** ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	●		・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・ハラスメント研修を実施している ・ハラスメント相談窓口を設置している　など																	
3		**【ワークライフバランス・労働時間】** ・働き方の見直し等により、長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るワークライフバランスを推進している	●		・労働基準法等を理解し、長時間労働是正のための労働生産性の改善、労働時間管理体制、多様な働き方を許容する勤務体制の整備・対応を行っている ・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組、半日・時間単位で取得できる有給休暇制度の創設や有給休暇の取得奨励を実施し、家事や育児、ボランティア活動に積極的に参画できる環境を整えている ・有給休暇の取得促進を図るため、月1回取得状況の確認を行っている ・週1回ノー残業デーを設定し、定時退社を呼び掛けている ・男性の育児休業取得を奨励している ・テレワークやフレックスなど、多様な働き方を導入している　など																	
4		**【外国人労働者】** ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	●		・外国人技能実習制度技能実習生等の外国人労働者への適切な処遇や労働環境の整備を行っている　など																	
5		**【労働安全衛生】** ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	●		・社員向けの労働安全衛生講習会を実施している ・社内ホームページ等を活用して周知を徹底している ・厚生労働省の「安全衛生優良企業認定」を取得している　など																	
6		**【メンタルヘルス】** ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	●		・メンタルヘルスに関する方針と計画を策定している ・メンタルヘルスに関する職場の理解を促進するための研修を実施している ・メンタルヘルスに対応した休職規程等を整備している　など																	
7		**【ダイバーシティ経営の促進】** ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	●		・多様な人材が活躍できる社内制度を設けている ・多様な人材の活躍状況をHPや広報誌等で積極的に発信している ・障がいの種類や程度に応じた安全管理や安全確保のための施設等の整備、職場環境の改善を行っている ・経済産業省の「新・ダイバーシティ経営企業100選」、「100選プライム」に選定されている　など																	
8		**【健康経営】** ・従業員への健康投資による生産性の向上等、組織の活性化に取り組んでいる		●	・全国健康保険協会岡山支部の「健活企業」に認定されている ・経済産業省の「健康経営優良法人」に認定されている　など																	
9		**【人材育成】** ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		●	・職務や役割に応じた研修体系を整備し、研修を実施している　など																	
10		**【女性の活躍推進】** ・女性の活躍を推進するための取組がある		●	・岡山市女性が輝くまちづくり推進課の「岡山市女性が輝く男女共同参画推進事業所」認証を取得している ・厚生労働省の「くるみん認定」「トライくるみん認定」「プラチナくるみん認定」を取得している ・厚生労働省の「えるぼし認定」「プラチナえるぼし認定」を取得している　など																	
11		**【公正な待遇】** ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		●	・パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行っている　など																	

・取組レベルには、必ず取り組むべき項目を「基本」、市として取り組んでほしい項目を「チャレンジ」として分類しています。
・「基本」は取組必須です。すべての「基本」の項目に取組内容を記載してください。
・「チャレンジ」は、全体で３つ以上の項目について取組内容を記載してください。
・業種や事業の形態上まったく当てはまらない項目については、「○○のため該当なし」と記入してください。（○○には必ず理由を記載してください）
・今後取り組む予定のものを記載していただくことも可能ですが、その際は取り組む予定の内容を記載し、申請日から１年以内の日付で【○年○月取組開始予定】と記載してください。

★「主なSDGs（17のゴール）関連項目」
・チェック項目がどの17ゴールに貢献するか、例示として記載しています。
・取組内容によっては他のゴールに該当する場合もあるため、変更することは可能です。

12		**【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】** ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により、業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる		●	・社内書類、手続きやカタログ等の電子化を進めている ・テレワーク、Web会議を積極的に導入している ・社員へのPC支給や自宅のネットワーク環境の構築を支援すること等によりテレワークを推進している ・DX推進の担当者を選任し、担当者を中心とした社内業務の効率化に取り組んでいる ・事業戦略や経営計画等において、デジタル化の取り組みを位置付けている							8	9		11	12					
13	環境	**【廃棄物】** ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	●		・廃棄物の種類・量など現状を把握して、削減のための計画を策定している　など											11	12		14			
14		**【エネルギー】** ・自らの事業所のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・省エネ診断を受け、その結果を踏まえた省エネ計画を策定し、エネルギー利用の効率化を推進している　など						7						13				
15		**【温室効果ガス】** ・自らの事業所の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	●		・算定ツールなどを利用して温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画を策定している ・2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、計画的に二酸化炭素削減に取り組んでいる　など						7					12	13				
16		**【有害化学物質】** ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	●		・法令で規制されている有害化学物質を把握し、削減のための計画を策定している　など			3			6					11	12					
17		**【生物多様性】** ・自らの事業所の活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・環境に配慮した材、製品、サービスの提供を通じて生物多様性保全に配慮している ・事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、大きな負の影響を削減するための計画を策定している　など						6									15		
18		**【4Rの推進】** ・リフューズ、リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	●		・工場における資源利用の削減、資源の再利用、再資源化を進めている ・海洋汚染につながるプラスチック製容器包装への対応として、使い捨てプラスチック使用の削減等に取り組んでいる　など						6					11	12	13	14	15		
19		**【水の管理】** ・自らの事業所の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている		●	・自らの事業所の水源を含む水利用状況を把握し、使用量削減等の計画を策定している　など						6											
20		**【環境マネジメントシステム】** ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している		●	・ISO14001、環境省の「エコアクション21」認証を取得している　など			3			6	7					12	13	14	15		
21		**【環境情報開示】** ・自らの事業所の環境の取組に関する情報を収集し、開示している		●	・ウェブ等で環境情報を公開している ・環境報告書を発行している　など												12					
22		**【再生可能エネルギーの利用】** ・再生可能エネルギーの利用を進めている		●	・工場やオフィスに太陽光パネルを設置し、利用している ・グリーン電力を使用している　など							7						13				
23		**【天然資源の持続的利用】** ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている		●	・認証製品（森林、パーム油、ゴム、コーヒー等プランテーションにより生産される原材料、天然水産物および養殖水産物）を利用している ・環境に配慮した原材料・部材等を使用している ・非合法材を使用していないことの確認を行っている　など												12	13	14	15		
24		**【食品ロスの削減】** ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●	・規格外や未利用の農林水産物を有効活用している ・フードドライブ活動を推進、参加している ・外食産業において、小盛メニューの導入や持ち帰りへの対応を行っている　など	1	2										12		14	15		17
25		**【海洋ごみ】** ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用を減らすなど、海洋ごみ削減、海洋汚染の防止に貢献している		●	・プラスチックの使用削減や環境にやさしい素材の使用に取り組んでいる ・従業員が河川敷、海岸等の清掃活動を行っている ・海洋投棄パトロール活動に参加している　など											11	12		14			17

26		**【環境に配慮した交通手段】** ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車、水素自動車などの環境にやさしい自動車の利用を促進している		●	・ノーマイカーデーを設定する等、公共交通機関での通勤を推奨している ・事業所の所有する自動車の50%をＥＶ車としている　など									9		11		13				
27	公正な事業慣行	**【汚職・贈収賄防止】** ・汚職や贈収賄を禁止する方針を掲げ、従業員に教育している	●		・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内に浸透させている　など																16	
28		**【公正な競争】** ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、従業員に教育している	●		・不正競争行為を含む行動規範を整備し、社内研修を実施している など																16	
29		**【知的財産保護】** ・知的財産を保護するよう、適切な取組を進めている	●		・特許、商標等知的財産権を取得し、管理している ・製品開発において特許侵害調査を実施している　など								8	9								
30		**【個人情報保護】** ・個人情報を適切に管理している	●		・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表するとともに体制を整備している ・社内研修を行い情報管理ルールの周知徹底を図っている　など																16	
31		**【サプライチェーン管理】** ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している		●	・取引先との対話を通じて人権侵害防止等の取組状況を確認している ・Sedex(サプライヤーエシカル情報共有プラットフォーム)等を活用したサプライチェーン上のリスク管理を実施している　など					5			8		10		12	13	14	15	16	17
32	製品・サービス	**【製品・サービスの安全性】** ・自らの事業所の製品やサービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	●		・製品・サービス使用時に想定されるリスクを洗い出し、対策を講じている ・製品安全確保の観点を踏まえた取扱説明書を作成している　など			3									12					
33		**【品質保証】** ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	●		・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している ・顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルールを策定している ・役職員向け研修を実施している ・ISO9001を取得している　など									9								
34		**【ユニバーサルデザイン】** ・障害者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている	●		・ユニバーサルデザインを考慮した製品やサービスの提供を行っている ・施設整備において、○○などバリアフリーに対応した環境整備を行っている（段差の解消、手すりの設置、自動ドア、多機能トイレ、エレベーターなど）									9	10	11	12					17
35		**【環境配慮製品】** ・環境に配慮した製品の開発、設計を進めている		●	・製品設計時においてライフサイクルでの環境影響を把握している　など						6						12	13	14	15		
36		**【社会課題解決製品・サービス】** ・社会課題を解決する製品やサービスの開発、展開を進めている		●	・特定の社会課題解決をテーマとした製品開発を推進している　など	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
37	社会貢献・地域貢献	**【地域への影響に対する配慮】** ・自らの事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	●		・地域との対話に基づいて、事業の地域への影響を把握している　など				4					9		11	12		14	15		17
38		**【社会貢献活動・地域への参画】** ・寄付、ボランティア、地域団体への支援、地域コミュニティの活性化等の活動に積極的に取り組んでいる		●	・地域の次世代を担う人材（学生・子ども等）に交流・育成機会（キッズスクール等）を提供している ・地域団体や地域コミュニティと協働し、地域課題解決に取り組んでいる ・地域課題解決に取り組む地域団体や地域コミュニティを支援している ・地域の防災活動へ参画している　など				4							11			14	15		17
39		**【地域資源の積極的利用】** ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商等）を行っている		●	・地域の原材料を優先的に利用している　など								8	9		11	12	13				

40	組織体制	**【法令遵守】** ・法令遵守の考え方が事業者内に十分浸透し、法令遵守が確実に行われるよう、体制や仕組みが整備されている	●		・社内報や掲示板等で法令遵守（コンプライアンス）の重要性を全社員に向けて発信している ・コンプライアンス研修を実施している　など																16	
41		**【内部管理体制】** ・経営理念や経営目標の事業所内への共有が行われている	●		・経営理念を明文化している ・経営者が適時、経営理念、経営目標を社員に伝えている　など							8	9									17
42		**【組織体制】** ・自らの事業所の活動が社会、環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	●		・責任者（担当役員）を任命している ・CSR管理者を任命している　など																16	
43		**【リスクマネジメント】** ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		●	・リスクマップ等を活用してリスクの洗い出し、評価を行ったうえで、適切な対策を講じている　など																16	
44		**【事業所の社会的責任】** ・自らの事業所の活動が社会、環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		●	・CSR方針を策定している ・CSRマネジメントプロセスを整備している　など																16	
45		**【ステークホルダーとの対話】** ・ステークホルダーと対話し、自らの活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		●	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握している　など																16	17
46		**【事業継続】** ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している		●	・事業継続計画（BCP）を策定している ・定期的に訓練を実施している ・一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会（内閣官房国土強靱化推進室）の「国土強靱化貢献団体認証」（レジリエンス認証）を取得している など								9		11		13			16	
47		**【事業承継】** ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・後継者候補が存在している ・サクセッションプラン（後継者育成計画）を作成し、検討を進めている　など							8	9									17
48	持続可能な社会・地方創生	**【SDGsの普及啓発・理解促進】** ・SDGsについて事業者内部に浸透させるとともに、社会課題解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている	●		・SDGsの社内研修を実施し、または外部研修等に従業員を参加させSDGsの理念を社内に浸透を図っている ・地域住民や顧客等に対し、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている ・自らの事業所のウェブサイトやSNS等でSDGsについて発信している ・岡山ESD推進協議会（岡山市SDGs・ESD推進課）主催のSDGs講座に従業員が参加したことがある、または同会（同課）主催の事業に参画したことがある（岡山市ＳＤＧｓ推進パートナー制度申請年度を含めて3年度以内に参加、参画していた場合に限る。1年度は4月1日～翌年3月31日までとする） ・SDGsの取組を発信する冊子やホームページに自らの事業者の取組が掲載されている　など				4													17
49		**【ESD（持続可能な開発のための教育）の推進】** ・事業者内部または外部で持続可能な社会の担い手を育成する取組を行っている		●	・ESDの社内研修を実施し、または外部研修等に社員を参加させESDの理念を社内へ浸透を図っている ・顧客や地域住民等に対し、学校等の教育機関と連携してESDによる学びの機会を提供している ・自らの事業所のウェブサイトやSNS等でESDについて発信している ・岡山ESD推進協議会（岡山ESDプロジェクト）に参加している ・岡山ESD推進協議会（岡山市SDGs・ESD推進課）主催のESD研修に従業員が参加したことがある、または同会（同課）主催のESD事業に参画したことがある。（岡山市ＳＤＧｓ推進パートナー制度申請年度を含めて3年度以内に参加、参画していた場合に限る。1年度は4月1日～翌年3月31日とする）　など				4													17
50		**【若者等の地元定着】** ・若者等の地元就職やUIJターン就職を促進する取組を行っている		●	・地元の生徒、学生を積極的に雇用している ・県内出身者のUターン就職を受けて入れている ・岡山市移住・定住支援協議会に参画している　など				4			8										17
51		**【地域の健康づくり】** ・地域で、市民の健康に対する意識を高め、健康づくりを促進する取組を行っている		●	・地域住民や顧客に対して健康に対する意識を高め、健康づくりを促進するセミナー、講習会等を開催している ・地域団体や地域コミュティと協働し、地域住民の健康づくりに取り組んでいる ・健康づくりに取り組む地域団体や地域コミュニティを支援している ・岡山市が支援する地域の健康づくりの取組に協力している　など			3														17